

ニュースレター



長野県立こども病院だより第93号 発行日：令和6年3月14日 発行者：中村友彦
〒399-8288 長野県安曇野市豊科3100 TEL0263-73-6700 FAX0263-73-5432
<https://nagano-child.jp/> ✉ kodomo-info@pref-nagano-hosp.jp

Contents

未来のこども病院	1
輝く命を未来へはぐくむ ～こども病院30年とこれから～ 制作秘話 番組ディレクター中村あゆみさん インタビュー	2
この人に聞く	4
私のオススメBEST5	8
ころにお届けする本	9
栄養科通信	9
保育士だより	10
サポーターズボード	10
小さな星の会のお知らせ	10
キョウノイチマイ・編集後記	11



長野県立こども病院理念

わたし達は、未来を担うこども達とその家族のために、質が高く、安全な医療を行います。

撮影：大畑淳

未来のこども病院

病院長 中村 友彦

未来のこども病院を夢見ました。今と同じく屋根は赤く、立派な塔にカリオンが音楽を奏でています。エントランスに入るとセラピードック（最近ではファシリティドックと呼ばれているようです）が何匹かこども達に寄り添っていました。待合には大きな水槽があって沢山の綺麗な熱帯魚が泳いでおり、多くのこども達が水槽の前で眺めています。1階の外來の続きには医療的ケア児のための通所施設があり「デイケア」がおこなわれています。通所施設の奥は「在宅医療支援・維持病棟」に繋がっています。2階は「超急性期フロア」です。フロアの中心に手術室があり、手術室を囲むように救急室・小児集中治療室・新生児集中治療室・産科病棟が配置されています。救急車はスロープを走って2階の救急室に直接横付けできます。救急室に繋がる小児集中治療室は多くが個室で、家族と一緒に宿泊できるシャワー・トイレ付きの部屋もあります。新生児集中治療室・産科病棟は一体化しています。分娩の終わったお母さんが過ごしている個室で、入院した新生児が診療されていま

す。お母さんが退院後も希望があれば、この個室を使って治療中の新生児とその家族と一緒に過ごせます。フィンランドのようにいつも家族が病室に滞在することは難しいので、家族が滞在していないときは個室に新生児が一人にならないように、大フロアに移動して診療が継続されます。3階以上は一般病室です。一般病室はほとんどがシャワー・トイレ付きの個室で、Wifiも自由に使い、個室内で病児と一緒に家族が食事も宿泊もできます。各フロアには



過去のこども病院、1993
川勝岳夫初代病院長の医師紹介の場面、右から5番目が私

院内ホスピスがあり、病棟内を通らずに別入り口から家族や友達が入り出できます。最上階は宿泊施設と展望レストランです。宿泊施設は遠方から通う家族と、小児期発症の疾患を持つ中年・高齢成人のための一泊ドックに使われています。展望レストランは地産地消の食材で地元ボランティアにより運営されています。屋上には防災ヘリコプターが離着陸できるヘリポートがあります。こども病院が被災した時は、入院患者は県外にヘリ搬送します。一方、

東海地方や北陸地方が被災して妊婦・新生児・小児が県外からヘリ搬送されてくることも想定しています。事務管理部門・医療情報管理・患者個人情報管理部門は一般の人が入り出できない完全に独立した建物に入っており、外部からのサイバー攻撃にも備えています。

「未来のこども病院」は正に夢のようなこども病院でした。私はこの3月に定年退職しますが、何年か後に「夢のようなこども病院」が実現するように応援していきます。

輝く命を未来へはぐくむ ～こども病院30年とこれから～ 制作秘話 番組ディレクター中村あゆみさんインタビュー

血液腫瘍科 倉田 敬

2023年12月29日に放送された長野県立こども病院創立30周年記念特別番組「輝く命を未来へはぐくむ～こども病院30年とこれから」についてabn長野朝日放送契約ディレクターの中村あゆみさんにお話を伺いました。

倉) まず担当ディレクターになった経緯を教えてください。
中) 番組制作に入る直前にabnを退職したのですが、局員時代はもともと医療関係中心に番組を作っていて、「信州のがん最前線」という番組を作っていたこともありました。その後もニュース企画などでこどもに関わる取材をしていました。がんに関わるこどもたちのことをライフワークとしていたので、abnを退職してもこども病院の番組を作るのであれば中村がやった方がいいというお話があり担当ディレクターになりました。

倉) ディレクターを務めたことは中村さんとしてはどうでしたか？

中) うれしかったです。これまでも信州大学の入院中のこどもたちの映像をニュース特集として放送したことがあって、すごく反響がありYouTubeでも400万回以上再生されたことがあったんです。映像の持つ力を存分に発揮できるというか、皆さんが関心はあるけどあまり目にする機会がなかったというのが視聴者の思いでもあるし、病気と向き合っている患者さんやご家族にとっても頑張りとか実

状を見てほしいというお気持ちもあるんだなということに非常に感じました。局は離れても仕事としてかわりたくない気持ちもあったので、力を入れてやろうと思いましたね。

倉) 私が番組を観て患者さん目線というか、患者さん中心で、これからのこども病院を伝えるような番組作りだなと思ったのですが、方向性はどんな感じで決まったんですか？

中) まずこども病院の幹部の皆さんの会議に出席したんですけど、もちろん30年の歴史はあるけれど、そうじゃなくて今やってる新しいことだったり、こどもたちがどうしてるかだったり、課題とかそういう話を伝えてほしいというメッセージを感じまして、中村院長の言う「命を救うから命を育む」ということを意識はしました。病院の記念番組を作ると歴史で終わることも多いんですが、私自身も小6の娘がいるんですけど、これからの世代をどう支えていくのかっていうのは一番見たいところではあるし、タイトルもあえて「30年とこれから」にしたんです。これからはちゃんとみせていきたいなと。

倉) これからのこども病院の役割とか、こうしたいんだっていうのが感じられたのはうれしかったです。

中) 実際に職員の皆さんがそういう気持ちでいるっていうことが大きいと思います。日々の診療だけでなくその





先を見て動いてるというのを表現できるのは、実際に皆さんがそういう思いで動かれているからだと思います。

倉) 30年もたつと成人した患者さんもいるので、そういうところに光が当たるっていうのはとてもいいと思いました。

中) そのつもりで取材してなかったのに、こどもの付き添いで来ていたお母さんが「私ここの卒業生なんです」と言い始めて、実は妹さんもこども病院にかかっている、家族で何人こども病院に世話になってるんだらうねって話されていて、こども病院とそういう関係の方が少なくないと思うんですね。

倉) 取材されてどうでしたか？

中) 一人一人の患者さんに密着をしていたんですが、一人だけに絞らずにいろんなこどもがいろんな病気を抱えているんだというところを見せたかったので、こんなに元気している子だって苦しいこともたくさんあるしっていうところも見せたかった。病院だけで終わらずに生活を見せたかったので学校に取材に行きましたね。在宅療養をすることもちも家族で過ごす様子を撮影したいということで、病院という枠から出て撮影したんですけど、それをやることで現実の生活を見てほしかった。病院で過ごしているところだけを取るとその先が見えないんですね。おかげで取材の回数が増えてカメラマンは大変だったと思います。

倉) 番組作りで気を付けたところって何かありますか？

中) 患者さんの視点というのをしっかり持っていたいというのがありまして、やっぱり人の心に届くって患者さんの視点なんですよ。患者さんの視点に立つことで物事を継続的にみられるので、視聴者に届きやすくなります。こだわった部分ですね。普通は患者さんに取材許可をとるってすごい大変なんです。特にお子さんと顔出し取材は認めてもらえないことも多いんです。取材にあたり「この科で在宅療養をされていてお家までいける方」などのリクエストをしたのですが、ふたを開けてみると鬼澤さんがすばらしいコーディネートをしてくださって、端から取材OKになったんですよ。こども病院のためならって、主治医の先生との関係がうまくいってるのもあると思うんですけど、ほんとにありのままを見せてくれました。その中で親御さんと話し合っただこまで放送するかを考えなが

ら制作しました。現在進行形の患者さんのことを伝えられたのはよかったと思います。

その後も患者さんともやりとりしたり、近況も聞いたり私自身もいい経験をさせていただきました。この先彼らがどう育っていくのかを見ていきたいなと思いました。

倉) 中村さんが医療の番組に取り組むようになったきっかけはあるんですか？

中) 「信州のがん最前線」という番組は2012年の1月から始まって、当初は報道制作局長が自分で現場に行き始めた思い入れのある番組なんです。当時私は育休中でいなかったんですが、復帰して1年ぐらいたった時に呼ばれてディレクターをやるよう言われました。そこから取材の方法も患者さん寄りに変えましたし、がん患者さんの交流会を立ち上げたり、患者さんと近くなったり、先生方とも話すようになって、私にとってもいい場所になったんですけど、自分の意志ではなく始めたことがライフワークになって、偶然の出会いが道筋になってくれた感じはあります。

倉) 今回の番組の反響はいかがでしたか？

中) 取材した患者さん皆さんが良く受け取ってくれていて、患者さんのところに知り合いの方から反響があったみたいで、知られていなかったことを知ってもらったことをプラスに捉えられている方たちが多くて私もうれしかったですよ。わかりやすかったよというのが一番のお褒めの言葉かなと思います。たくさん観ていただいて本当にありがとうございます。YouTubeのabn公式チャンネルでも配信されているのでアクセスしていただけたらと思います。

倉) 最後に何か伝えたいことはありますか？

中) 県内にいると他と比べられないじゃないですか。取材して感じたのは長野こども病院ってすごいぞってところなんですよ。都会には負けてるんじゃないかってつい長野県民は考えてしまいがちですが、でもすごいやってくれてる病院なんだっていうのは感じました。もっとアピールしてほしい。番組の後半で触れたファミリーセンタードケアもこれから動くということで注目したいと思います。

倉) 次は50周年記念ですかね？

中) 笑 これからも取材させていただけたらと思います。

第53回 「この人に聞く」 医療技術部長 戸塚 実氏



今回は、3月に定年を迎えられる医療技術部長の戸塚実氏に長年の仕事人生を語っていただきました。こども病院の立ち上げにも関わった方です。

編) 大変だった仕事人生の始まりは…

戸) 当時、信大の中央検査部(現臨床検査部)に、「臨床検査法提要」という本の編集をされていて、今は亡くなった金井正光先生がいらっちゃって、僕のいた大学に非常勤講師で来ていたんだよ。誘われて信大に来たのが始まりなの。生まれは群馬県で、中学卒業するまでは群馬で暮らしていたの。海拔は1600mあって皆は想像もつかない田舎だよ(某カード会社の小栗旬さん出演CMの撮影地とのことです)。高校は須坂高校だったんだけど、もちろん下宿だった。小学校・中学校は一応本校で、一クラスずつしかないけど。そんなところで15年間育ったの。今は東京の小平市に自宅があって、単身赴任中。これで家に戻る予定。

編) いよいよ戸塚部長の仕事人生のお話です。

戸) 大学を卒業して、信大の検査部に9年間勤めた後、2年8ヶ月くらいオーストラリアのメルボルンという町の研究施設に留学したの。先に一人で行って、アパートの準備や車も買って、1ヶ月後ぐらいに女房と息子(4歳)が日本から来たんだよ。女房がオーストラリアでこどもを産む自信があるっていうから、娘は向こうで生まれたの。はじめて出産に立ち会っていい経験だった。留学先では周りは医者が多くて臨床検査技師で留学なんていなかったよ。

編) あまりないご経験をされているんですね。

戸) もともとは東大出身の金井正光先生が「臨床検査技師だって、これからは研究しないとだめだ」と言って…。その頃は夜早く帰ると怒られるという時代。土曜日に休んで当時浜松にいた彼女(女房)に会いに行くのになかなか許可をもらえなかった。休みはなかったけど今になって思えば、基礎体力作るためにはなったな。その後、今は丸子中央病院の勝山 努院長が教授になって、もう少しシステムとして育ててもらったね。金井先生で体力は出来ていたから、良かったよ。金井先生とは毎週火曜日のミーティングがあったんだけど、パート職員も全員だよ。パート職員や一部の職員は先に帰宅するけど、僕らは毎回23時とかなんだよ。それが終わるとさらに何人が残されて、1週間でやった研究の事聞かれるんだよ。だから月曜日に火曜日の為にちょっとデータ作るとか必死だった。子育て中は、1回家に帰って、風呂に入れてご飯食べて、寝かしつけてからもう一回病院に行く生活。そうやって毎日午前1時とかに家



留学先のボスの家で



どこの赤ちゃん？(いえ！私です)



医局対抗野球(信州大学)



▲ ども病院準備室

開院2年目の検査科スタッフ（ども病院）▶



に帰って、それから酒飲んだり…たまには1階で寝ると、女房に怒られて…大学で怒られて、家で怒られて…という生活をずっとしてたね。だけど今思えばありがたいと思う。やっぱりプッシュがないと才能のある人だって、気が付かずに一生を終わってしまう可能性があるから。ましてや才能の無い僕なんかは押してくれる人がいないとね。

編) ども病院の立ち上げに関わられたと伺っていますが
戸) 留学から帰ってきて、また信大に勤めた。それから3年後に、ども病院に来たの。川勝初代院長が信大に割愛に来てくれて。まあども病院に来たと言っても、ここではなくて県庁のども病院準備室で事務の仕事だね。検査の器械何買うか…とかね。様々な書類に知事印をもらいに行ったりね。建物ができて、開院前の1月か2月にここに来ただけど、事務室は、今の保育園でね。男性用のトイレが子供用しかなくて、膝で立っておしっこしてた…(笑)。開院が5月28日で、それまでいろいろ楽しかったよ。

編) ども病院はどれくらいおられたのですか？

戸) 僕がいたのは、開院してから3年間。3年後に大学に

戻って翌年の7月には技師長になって、7年くらいやったかな。勝山先生のバックアップのおかげで、田舎の一技師長だったのが、全国区までとはいかないけど、知られてきたかな。今回も医学雑誌の巻頭言書けと言われて、書いたんだけど、勝山先生のおかげだと強く感じたね。直接的指導はないんだけど、やっぱり環境を作ってくれた。京大とか東大の技師長を旅費や宿泊費も出して集めて、今後の臨床検査をどうしていくかっていうような話もしたり、もち



ゴルフ大会（ども病院）



テニス合宿（ども病院）



スキーツアー（ども病院）



安曇野祭り



臨地実習生と（信州大学病院）



東大検査部長と

ろん宴会もあってね。その集まりの中で「これからは技師長だって公募する時代だよ、東大がまずやんなきゃだめだよ」とか言ってたら東大から公募が出たんだよ。約束してたし、どうせ当選しないからと勝山先生に許可をもらって、立候補したら当選しちゃったんだよ。その時の東大の院長が今、自治医大学長の永井良三先生。でも東京では検査関係の主要な重鎮たちはほとんど知っていたんだよ。というのは、勝山先生のおかげ。勝山先生が、信大検査セミナーに著名な先生たちを呼んでくれて、その時に知り合った先生たちが「戸塚君、よく来たね」という感じだったんだよ。50歳で東大に行ってそのまま定年を迎えるつもりだったんだよ。でも東大の2年目に入ってすぐ、東京医科歯科大学の芝紀代子先生って保健学科の臨床検査技師養成科の教授から電話が来て、私の後任として東京医科歯科大学の教授職に立候補しなさいってわけだよ。募集が出てたのは知ってたけど、東大に行ったばかりだし…。永井先生に相談したら、「ぜひ、立候補しなさい！」って言われて…落選したら引き続き置いてもらう約束で立候補したら、

どういわけか当選しちゃったんだよ。それで医科歯科に行っただよ。

編) いろいろな職場で活躍されていますね

戸) 52歳で医科歯科に行って、65歳で定年だから、13年間。それからここに来たんだよ。医科歯科に行った次の年には外部から大学院生（前期課程）が来てくれたのが大きかった。その一人が今の信州大学の技師長だよ。先生のところに行きたいと琉球大学から来たんだよ。検査の分析について勉強したいと言って昭和大学から来てくれた人もいて。今、信州大学に僕の教え子がいっぱいいるんだよ。技師長、副技師長、主任…うちの研究室出たのが4、5人いるんだよ。夜研究を頑張る人は東大にも何人もいて、その中の一人が僕の後任の教授だしね。それで、定年になるときに、本田孝行信大教授（現理事長）と中村病院長から「こども病院に来ないか」って言われて、「もう何十年もやってないんだから検査はできませんよ…手は出せない、口は出せるけど」なんて会話して。こども病院は知っている土



研究室旅行（東京医科歯科大学）

地だし、女房も「いいんじゃない」と言ってくれて。当時の理事長から臨床検査科長も兼任してくださいと言われてここにきたの。2回目、出戻り。ここまでこれたのは、皆さんのお陰だね。一人でどんなに頑張っても誰かが援助してくれなきゃ難しいね。だから、知りあった先輩や友達を大事にしないとね。よく言われたのは、喧嘩して出て行っちゃいけないと。別れるときは笑顔で分かれないとだめだね。まあ楽しい人生だったね。

編) 本当に仕事人生だったんですね…

戸) いや…そうでもないかな。僕は大学卒業して1年で結婚して、新婚旅行は九州だったんだけど、その後1週間ちょっと休みをもらって、初めて女房と一緒にヨーロッパの海外旅行に行ったよ。子供ができる前までは毎年旅行には行ったね。だから遊んでない事はないよ。定年後も女房と行こうかと思ってたけど、もう長時間の飛行機(エコノミークラス)がヤダっていうんだよ。国内旅行だね。

編)他に好きなことはありますか？

戸)酒が好きでね、酔って電車も乗り過ぎたりして…子ども病院の準備の時は松本から長野に通ってたんだよ。夜帰ってくる時、昔は大阪までの夜行列車があったんだよ。それが最終だったんだけど、飲み会の時にそれに乗って、名古屋まで行っちゃったことあるよ。気が付いたのは中津川辺りだったけど。幸い次の日は休日で、始発特急で帰ってきた…乗り過ぎたのはそれだけじゃないし…なんせ50歳になってもあるからな。山崎君(検査科)には聞かせたくなかったよ。だからちゃんぼらんだよ…楽しかったね、いろいろね…。



国立大学技師会総会

編)何か伝えたいことはありますか？

戸)本当のチーム医療をするっていう事だね。せっかく才能あるのに磨かない人が多いと感じる。一つは俺ら年寄りの責任もあるけど、環境のせいもあるかな。一生懸命教えるっていうのも大事だけど、環境が整っていれば、教えなくても育つんだよ、特に子供(若い社会人)はね…。

以上より本人談:「お話ししたままの原稿に驚きました。ガサツな人間ですみません。」

編:本当にあっという間のインタビュー時間でした。豪快な語り口で仕事人生を語っていただきました。ずっと走り続けてこられたと思いますので、これからはギアを入れ替えて、ゆっくりしてください。くれぐれもお酒の飲みすぎには注意ですよ!ありがとうございました。

(山崎さとみ、山崎香織、藤沢南季)



信大ファミリー

私のオススメ BEST5

薬剤部 宮下 竜雅

検査科 小林純さんからご指名で担当させていただきます、薬剤部 宮下竜雅です。
自分が好きな長野県出身のアニメーション監督、新海 誠 監督の作品の紹介をしようと思います。
今回はBEST5ということで、順位をつけるのが難しかったですが、自分なりのここがよかったところ、見どころなど、紹介させていただきます。



1位

秒速5センチメートル

新海誠監督の2007年の映画です。

ストーリーは三部構成になっており、主人公やヒロインたちの小学校時代から大人になっての物語になっています。Happy Endではないですが、主人公の過去との決別が綺麗に描かれており、前を向ける自分の一番好きな映画だと思っています。また、この映画の主題歌である「One more time, One more chance」のラストの入り方は完璧です。

2位

君の名は。

日本での興行収入が250億円を超えた有名作品です。

最初は主人公とヒロインの体と心が入れ替わるいわゆる「ラブコメ」作品かなと思いましたが、中盤から驚愕の事実が明らかになり、ヒロインのために奔走する主人公の姿は感動的で、最後のタイトル回収も合わせて、綺麗な終わり方でした。RADWIMPSの「前前世」は今でもカラオケで歌えば盛り上がりますよね（笑）。



3位

すずめの戸締まり

去年公開した最新作です。

災害をもたらす「ミミズ」を封印するために全国を飛び回って、そこで出会った現地の人々に力を借りながら進んでいく姿がとても魅力的です。いつか映画で登場した場所に「聖地巡礼」してみたいなと思っています。



4位

天気の子

「君の名は」がヒットしてからの2作目です。

離島に住んでいた主人公が家出をして、東京でヒロインと出会い、ヒロインの「晴れ女」の力を使って東京に訪れた台風を止めるために立ち上がる物語です。世界が終わってもヒロインを助けたいと思う気持ちは、とても感動的でした。自分は初めて映画館で2回見た作品でした（笑）。



5位

彼女と彼女の猫

新海誠監督が一人で作った初めての映像作品です。

YouTubeに上がっていて、4分くらいの作品ですが、モノクロでもわかる新海誠監督の美しい背景の描写、心に残る台詞回しなど、新海誠監督の原点といえる作品だと思います。

リメイクもされていて、いつかそちらも見てみようと思っています。



新海誠監督の一番の見どころは、どの作品も綺麗な背景と、それにマッチする音楽だと思っています。有名作品も多いため、一度は見たことある人も多いのではないのでしょうか。新海誠監督の名前が有名になった「君の名は。」以前の作品もオススメなので、ぜひ見てみてください。次は第4病棟看護師 金井太郎さんにバトンを渡したいと思います。

今回の「こころにお届けする本」として、「死ぬ瞬間の5つの後悔」をご紹介したいと思います。この本の中に、「人に会わないから孤独なのではない。人に理解されず、受け入れられないから孤独なのだ」という一節があります。介護ヘルパーとして、「私達が受ける愛は与える愛の中にある」という言葉の通り、この仕事でたくさんのことを与えられた筆者が、人生最期の後悔の言葉を聞き取り、学んで著した1冊です。

人は皆苦しみを抱え、相手の期待する姿を投影されるのではなく、ありのままの姿で受け入れてもらえることを願います。筆者が人生について学んだ大切なこととして、「人はみな自分のやり方で自分を癒すべきだし、共感自分から始まるということだ」と記しています。他者に共感することで自分が癒され始め、自分に優しくなれ、許し、自分に共感することができ、そして人の優しさを受け入れられるようになります。今の自分を誇りに思い、自分にはその価値があると自信を持ち、「微笑みとともに知る」ことができる。

多くのことを教えてくれる最期の言葉が、私たちの人生に勇気をもたらせてくれることを願って、ご紹介させていただきました。



栄養科通信 節分

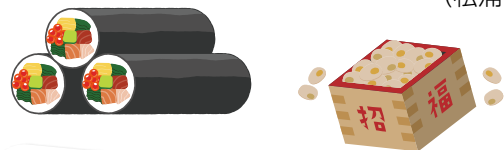
節分に食べるものといえば何を思い浮かべるでしょうか？

今から30年ほど前関西で学生生活を送っていた時、節分の時期にスーパーにたくさんの巻き寿司を見つけました。「なんで節分にお寿司食べるか不思議でしょ？」と友人に聞かれたことを思い出します。当時は限られた地域で食べていたようですが、その後あっという間に全国で食べ

られるようになり、病院の節分料理も巻き寿司を献立に入れるようになりました。

固い大豆は誤嚥の心配もあるため数年前から提供を止め、恵方ロールをおやつに出すようにしています。

(松浦 桂子)



◀ お昼の節分メニュー

▶ 15時おやつ

保育士だより



今年の節分の日は土曜日だったので、前日2月2日の日に鬼が来た病棟が!!
きゃーきゃー!!と、とても楽しそうにしている声や怖がって泣いている声、
様々な子供たちの声が聞こえてきました♪スタッフも張り切って鬼になりきり
ました。

鬼に投げる豆の代わりに紙で豆を作り退治したり、剣で鬼に攻撃し退治する
子供たちもいました。怖いので鬼来ないでほしい～という病棟もあったり、各
病棟ごとに節分を楽しみました☆

来年はもっとパワーアップした鬼が来るかも…

ちなみに鬼は外=邪気や病気、災いなどを追い出すこと。福はうち=無病息
災など良いものと呼び込むこと。ということになります。

みんな元気になることを祈って、鬼は外～!! 福はうち～!!

(高橋 亜弓)



1 病棟の鬼たち

サポーターズボード (寄附者ご芳名)

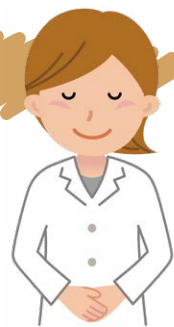
令和5年12・令和6年1月にご寄附いただきました方々へ感謝の意を込め
まして、ご芳名を掲載させていただきます。(希望されない方を除く)

あたたかいご支援、ありがとうございました。

- | | | |
|--------------------|------------------|----------------|
| ●株式会社角藤 様 | ●長野県遊技業協同組合 様 | ●小林 つかさ 様 |
| ●株式会社しんえこ 様 | ●柳澤農園 様 | ●杉岡 庸行 様 |
| ●株式会社RICH PLANET 様 | ●レゾナック労働組合塩尻支部 様 | ●名取 昇吾 様 |
| ●株式会社ハルピンフーズ 様 | ●松本いずみ幼稚園 様 | ●増田 景一 様 |
| ●横浜幸銀信用組合松本支店 | ●西澤 郁弥 様 | ●小林 依久子 様 |
| 支店長 秋 俊男 様 | ●小林 勝也 様 | ●曾根原 永揮 様、高永 様 |

(順不同)

ありがとう
ございました。



小さな星の会のお知らせ

当院の患者さんで、お亡くなりになられたお子さんのご家族の会
「小さな星の会」を年4回のペースで開催しています。

悲しい気持ちはあるけれど人には話づらい…。
向き合いたい気持ちと向き合いたくない気持ちがある…。
先生や看護師さんと久しぶりにお話したい…。

そのようなご家族とひとときを分かち合う場をつくりたい、という
思いで小さな星の会を開催しています。参加して下さるご家族のお
かげで、温かな会になっています。

詳細やお申込み方法は長野県立こども病院のホームページからご確
認をお願いします。

〈小さな星の会〉

日時：1月、4月、7月、10月の
第2火曜日 14時～15時

場所：こども病院

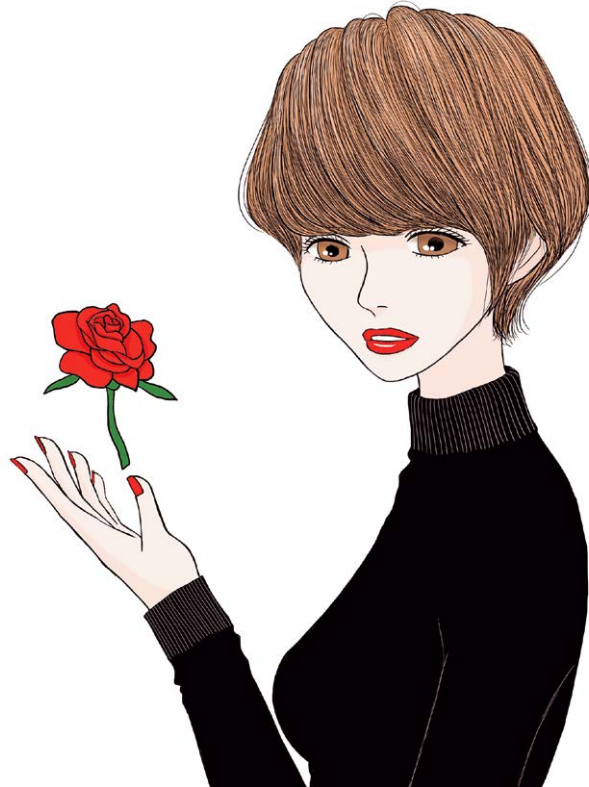
(詳細はHPをご確認ください)

●お問い合わせ先：長野県立こども病院 小さな星の会担当 0263-73-6700(代)

キョウノイチマイ

～イラスト & 解説 by 倉田 敬～

しろくまニュースレター編集会議の中で「女性のイラスト描くんですよ」なんて雑談から「私のお気に入り」のコーナーでイラストが紹介され（2019年6月発行第64号）、小木曾前編集長が連載にしてくださり始まったのが「キョウノイチマイ」のコーナーです。「今回の絵は好きです」「先生ショートカット好きなんですか？」などいろいろなご感想をいただき、うれしく感じました。自分のイラストを皆様に知ってほしいという気持ちはあるので、いい機会をいただけたと感謝でいっぱいです。私は異動するので、今回が最後です。これからはSNSだけではなく、ギャラリーなどにも積極的に出展して、別のかたちで皆様の目に留まればいいなあと思っています。技術向上と運も必要ですが…。何事にも情熱を燃やしていきたいという気持ちが強く、真っ赤な薔薇を添えてみました。30回にわたり私のイラストをご鑑賞いただきありがとうございました。



編集後記

今年度はこども病院創立30周年ということで、新聞の長期連載や記念番組の放送がありました。節目の年ではありましたが、30周年を記念して歴史を振り返るだけではなく、これからのこども病院の役割をもう一度整理し、何をやっていくかということを対外的にも示した1年だったと思います。私はしろくまニュースレターの編集長を1年間務めてきましたが、今号で終わりです。小木曾先生に誘われて編集委員になって、いつの間にやら編集長に…。楽しくやりながら、やはりビジョンを持って進めていくことが大事だなと感じました。一人の頑張り依存するよりもみんなシェアできるように進めた1年でした。来年度からは新編集長のもと、年4回の発行を予定しています。短い間でしたが、ありがとうございました。

倉田

長野県立こども病院 外来医師担当表

2024年3月1日現在

外来名	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
整形外科	午前	酒井 典子		松原 光宏 酒井 典子	松原 光宏	松原 光宏 酒井 典子(リハ装具)
	午後	酒井 典子	高橋 淳(第2) 大場 悠己(第4)	松原 光宏 酒井 典子	酒井 典子(リハ装具)	
小児外科	午前		好沢 克 笠井 智子		好沢 克	
	午後		高見澤 滋 ヘルニア外来	高見澤 滋	好沢 克	笠井 智子
眼科	午前	北澤 憲孝 視能訓練	視能訓練	視能訓練	北澤 憲孝 視能訓練	北澤 憲孝 視能訓練
	午後	北澤 憲孝 視能訓練	視能訓練	視能訓練	北澤 憲孝 視能訓練	北澤 憲孝
総合小児科	午前	南 希成 村井 健美	樋口 司		村井 健美	樋口 司
	午後	頭痛外来(第2・4) 南 希成 (PM4時~5時予防接種相談)*2	樋口 司 長崎 啓祐(内分沁・代謝)	樋口 司 南 希成(ワクチン接種) 村井 健美(ワクチン接種)	南 希成 (PM4時~5時予防接種相談)*2	
アレルギー科	午前	小池 由美 金井 絢子				伊藤 靖典 徳永 舞
	午後	伊藤 靖典 小池 由美 徳永 舞	伊藤 靖典 小池 由美(第1・3)			小池 由美
血液腫瘍科 膠原病・免疫不全外来	午前			丸山 悠太(第2・4)		
	午後			坂下 一夫(第1)(移行医療支援)		
循環器小児科 (内科・外科)	午前	小沼 武司(外科) 小嶋 愛(外科)	瀧間 浄宏(内科) 武井 黄太(内科)	小沼 武司(外科) 小嶋 愛(外科)	瀧間 浄宏(内科) 赤澤 陽平(内科) 溢谷 悠馬(内科)	赤澤 陽平(内科)
	午後		赤澤 陽平(内科) 米原 恒介(内科)	武井 黄太(内科) 米原 恒介(内科) 溢谷 悠馬(内科)	武井 黄太(内科) 米原 恒介(内科) 溢谷 悠馬(内科)	武井 黄太(内科) 米原 恒介(内科) 溢谷 悠馬(内科)
循環器小児科 成人先天性外来	午前		元木 博彦(第2・4)			
循環器小児科 移行医療支援	午前					瀧間 浄宏(第3)
放射線科	午前			小岩井慶一郎		
	午後					
リハビリテーション科	午前					リハビリ装具*3
	午後					
こころの診療科*1	午前					
	午後					
脳神経外科	午前	宮入 洋祐 千葉 晃裕	宮入 洋祐 千葉 晃裕	重田 裕明	重田 裕明	重田 裕明
	午後	宮入 洋祐 千葉 晃裕	宮入 洋祐	重田 裕明	重田 裕明 宮入 洋祐	重田 裕明
泌尿器科 皮膚・排泄ケア外来	午前	市野みどり 井川 靖彦		市野みどり	市野みどり 齊藤 徹一	
	午後	市野みどり 井川 靖彦		市野みどり		
神経小児科	午前	稲葉 雄二 本林 光雄	稲葉 雄二 那須野 将	稲葉 雄二 白井 真規	福山 哲広(第1・4) 本林 光雄 竹内史穂子 白井 真規	大多尾早紀 本林 光雄
	午後	稲葉 雄二 本林 光雄 白井 真規	本林 光雄 那須野 将	竹内史穂子 那須野 将	坂口 友理 竹内史穂子 牧田みずほ(第4)	稲葉 雄二 本林 光雄
小児外科	午前					高見澤 滋(胃腸・中心静脈栄養外来)
	午後					高見澤 滋(胃腸・中心静脈栄養外来)
新生児科	午前	小田 新	廣間 武彦	小川 亮		亀井 良哉
	午後	小田 新	廣間 武彦	小川 亮		亀井 良哉
形成外科	午前	野口 昌彦 土屋 彩 矢口貴一郎		野口 昌彦 土屋 彩 矢口貴一郎		永井 史緒
	午後	野口 昌彦 矢口貴一郎		野口 昌彦 矢口貴一郎	野口 昌彦	野口 昌彦 杠 俊介 土屋 彩 矢口貴一郎 永井 史緒
総合小児科	午前		竹内 浩一(内分沁・代謝) 大森 教雄(第3)(腎臓)	中山 佳子(第1)(消化器) 水城 弓絵(第2)(内分沁)	竹内 浩一(内分沁・代謝)	竹内 浩一(内分沁・代謝)
	午後		竹内 浩一(内分沁・代謝) 大森 教雄(第1)(腎臓)		竹内 浩一(内分沁・代謝) 長崎 啓祐(内分沁・代謝)	
麻酔科	午前	大畑 淳				
皮膚科	午前					
	午後					
遺伝科	午前		武田 良淳	武田 良淳	武田 良淳	武田 良淳
	午後	武田 良淳(第1・2・4)	武田 良淳	武田 良淳	武田 良淳 高野 亨子(第3)	武田 良淳
耳鼻咽喉科	午前	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子
循環器小児科 胎児心臓外来	午後	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子
	午前		米原 恒介			瀧間 浄宏
産科 成育女性外来*4	午後		武井 黄太		赤澤 陽平	
	午前	吉田 志朗 寺尾美代子 助産師外来	吉田 志朗 寺尾美代子	吉田 志朗 寺尾美代子	吉田 志朗 寺尾美代子 助産師外来	吉田 志朗 寺尾美代子
血液腫瘍科 血液・腫瘍外来	午後	吉田 志朗 寺尾美代子 助産師外来	吉田 志朗 寺尾美代子	吉田 志朗 寺尾美代子 いちご外来	吉田 志朗 寺尾美代子 助産師外来	吉田 志朗 寺尾美代子
	午前	坂下 一夫	坂下 一夫	坂下 一夫	坂下 一夫	倉田 敬
リハビリテーション科	午後	坂下 一夫 倉田 敬		倉田 敬	坂下 一夫	倉田 敬
	午前	五味 優子	三澤 由佳		中嶋 英子・村田マサ子	五味 優子
こころの診療科*1	午後	三澤 由佳	三澤 由佳	三澤 由佳(第4)(移行医療支援)		三澤 由佳
	午前					
午後						

*1 こころの診療科 篠山医師は、再診のみです。外来の初診受付しておりません。*2 長野県予防接種センター相談 *3 リハビリ装具は整形外科酒井医師の診療となります。*4 成育女性外来は寺尾医師の診療となります。★診察時間：午前9時～午後4時 ★休診日：土・日曜日、祝祭日、年末年始

文字が小さく見にくい方は
こちらから閲覧できます



予約専用電話 ★受診には、原則として
予約が必要です。
0263-73-5300